

《履修上の留意事項》保健師養成コース希望者は、必ず履修すること。

《担当者名》 明野 聖子 naga-s@hoku-iryo-u.ac.jp 田中 裕子 竹生 礼子 表山 知里

【概要】

地域で生活する高齢者の健康を支援するための活動展開に関する理論と方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 高齢者保健福祉の理念、歴史的変遷、動向、及び施策のポイントを説明できる。
2. 地域で暮らす高齢者と家族の健康と生活の特性、潜在、顕在する健康課題の明確化、当事者の権利を尊重した支援の方向性を表し、公衆衛生看護学的視点からのアセスメントと支援の計画立案ができる。
3. 地域で暮らす高齢者と家族に対して、文化、価値、生活様式を尊重した支援を展開し、その評価を行える。
4. 高齢者の健康課題に対して、看護職が協働する多職種、および社会資源の種類と活用方法を述べられる。
5. 地域の包括的な支援、及びチームで関わる問題解決方法と効果、課題について事例を通じて具体的に述べられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 高齢者保健の学び方	学習目標と学び方、課題 高齢者に関する法律・制度)の概要 グループ発表課題(第7-12回)の分担と計画 【課題1】高齢者に関する法律・制度の予習	明野
2	高齢者保健の動向(1) 高齢者保健の理念、歴史的変遷	高齢者保健の理念と歴史的変遷 高齢者の権利を尊重した支援の重要性	竹生
3	高齢者保健の動向(2) 高齢者の保健福祉施策と保健師活動	保健師の役割と活動方法(保健師活動指針) 潜在的、顕在的な健康課題 介護予防、多様な場で活動する保健師	明野・田中・表山
4	高齢者と家族の健康と生活の支援 (1)事例を用いた学習 地域・集団の高齢者の健康問題	高齢者世帯、家族介護者の特性 情報の整理と健康課題の明確化 健康課題に対してする支援目標と計画 4回・5回の課題: 【課題2】事例検討への参加内容	竹生・明野・田中・表山
5	高齢者と家族の健康と生活の支援 (2)事例を用いた学習 高齢者と家族の健康課題とその対策	事例検討の進め方 事例検討(文化価値、生活様式を尊重した支援) 事例検討で深めた事例の支援の記録	竹生・明野・田中・表山
6	高齢者と家族の生活と支援の支援 (3)事例を用いた学習 支援の展開と振り返り	事例検討の内容からの学びの共有 アセスメントの見直しと継続的な支援 高齢者の事例を想定してPDCAサイクルによる展開	竹生・明野・田中・表山
7	在宅高齢者の健康課題別の支援(1) 1)高齢者の特徴と発達課題 2)高齢者の課題とアセスメント 3)介護予防の理念と支援方法	高齢者の特徴と発達課題 高齢者に多い健康問題とアセスメント 介護予防の理念と実践、多職種連携、社会資源 7回~12回までの課題: 【課題3】 在宅高齢者の健康課題別の支援に関するプレゼン内容 【課題4】 在宅高齢者の健康課題別の支援 他グループ報告内容 のリフレクション	明野・竹生・田中・表山
8	在宅高齢者の健康課題別の支援(2) 4)要支援・要介護高齢者 5)社会資源	介護保険制度の概要 介護認定に合わせた支援方法と看護職の役割 看護職が協働する多職種、社会資源と活用方法	明野・竹生・田中・表山
9	在宅高齢者の健康課題別の支援(3) 6)認知症の高齢者への地域での支援	基本的な支援方法(家族、医療者、住民) 認知症の人が暮らしやすい地域づくりのあり方 国の施策・支援、多職種連携、社会資源	明野・竹生・田中・表山
10	在宅高齢者の健康課題別の支援(4) 7)高齢者の虐待	高齢者虐待の概要 高齢者の状況に合わせた支援	明野・竹生・田中・表山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		看護職が協働する多職種、社会資源と活用方法	
11	在宅高齢者の健康課題別の支援(5) 8) セルフネグレクト 9) 孤立予防	セルフネグレクトの概要と支援方法 孤立、孤独(死)の概要と支援方法 看護職の役割、多職種、社会資源と活用方法	明野・竹生・田中・表山
12	在宅の高齢者と家族への支援(6) 10) 在宅療養支援 11) ターミナルケア	在宅療養支援の定義、看護職の役割 ターミナルケアの定義と支援の実際 看護職が協働する多職種、社会資源と活用方法	竹生・明野・田中・表山
13	地域包括ケア(1) 地域包括ケアの動向	地域包括ケアの施策の意義と主な内容 エビデンスと地域包括ケアの方向性と支援 機関別の保健師の役割、チームと関係機関との連携	明野・竹生・田中・表山
14	地域包括ケア(2) 事例を用いた学習 地域包括ケアにおける保健師活動	地域で暮らす認知症の高齢者の課題 認知症の単身高齢者の地域包括的支援のあり方 包括的支援システムの構築、関係機関連携 【課題5】認知症の単身高齢者の地域包括的支援のあり方 学びに関するリフレクション	田中・明野・竹生・表山
15	まとめ	地域で暮らす高齢者と家族への支援のあり方 学習目標の達成度の確認	明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

1. 評価方法

課題40%と定期試験60%により評価する。

2. 課題と配点の割合

課題1 高齢者に関する法律・制度の予習と確認テスト《5点》

課題2 事例検討への参加内容《8点》

課題3 在宅高齢者の健康課題別の支援に関するプレゼン内容《10点》

課題4 在宅高齢者の健康課題別の支援 他グループ報告内容のリフレクション(全6回)《12点》

課題5 認知症の単身高齢者の地域包括的支援 学びに関するリフレクションシート《5点》

【教科書】

1) 標準保健師講座3:対象別公衆衛生看護活動,医学書院

2) 北川公子他:系統看護学講座,専門分野,老年看護学,医学書院

【参考書】

1) 厚生統計協会(編):国民衛生の動向・厚生指標,厚生統計協会

2) 門脇豊子他:看護法令要覧,日本看護協会出版会

3) 野尻雅美監修,中野正孝編:最新保健学,公衆衛生,疫学,真興交易(株)医書出版部

4) 永田久美子監修:認知症の人の地域包括ケア,日本看護協会出版会

5) 中島紀恵子編集:認知症高齢者の看護,医歯薬出版株式会社

6) 日本在宅ケア学会編:在宅ケア学 第1~5巻

【備考】

1) 学習課題の提示には、Google Classroomを利用する。

2) 確認テストには、Google Formを活用する。

【学修の準備】

1) 予習、課題などで、教科書の該当ページの読了及び予習プリントの記載等をしてくる。(目安として60分)

2) テーマに関するプレゼンテーションの準備(資料収集、報告媒体作成、報告練習を合わせて3~4時間)

3) 欠席した場合は、次回授業の前までに講義資料や提出物を必ず確認すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2, DP4

【実務経験】

明野聖子(保健師) 田中裕子(保健師) 竹生礼子(訪問看護師、保健師) 表山知里(保健師)

【実務経験を活かした教育内容】

地域における高齢者と家族への支援を踏まえて、学生が自身の課題を考え行動できるよう実践的な教育を行う。